

豊栄病院 ニュース

令和5年11月号

豊栄病院病院長の宮島です。全くの私事ですが、この10月に誕生日を迎え、高齢者(65歳)になりました。豊栄病院に勤務して、31年6か月、病院長に就任して16年2か月になりました。あと2年5か月で定年退職となります。なんとかそれまであまりボケないでいたいと思います(思っただけでボケないなら皆ボケないでしょうが...)。また私だけでなく、当院の医師の多くも高齢になってきています。特に当直などの夜間帯に働くことがきつくなっています(65歳の病院長も当直を行っています)。以前にも述べましたが、当院の医師の宿直は“寝当直”で、基本的には仕事なしで病院で“休息・寝ている”事となっています。一方、前月号でもお示しましたが、当院への救急患者搬送受け入れ要請は夜間帯が日勤帯の約2~2.5倍となっています。地域医療を守るために、地域の救急要請にはなるべく答えたいと思いますが、(高齢な?)医師が1名の夜間帯には限界があり、住民の皆様方もできるだけ、日勤帯に受診するよう心がけていただきたいと思います。



新潟の秋のローカルな味覚といえば、なんといっても菊(ちなみに、夏の新潟ローカル食はクジラ汁と思います)。菊を食用としているのは新潟県以外では山形県の一部地域でしかないようですが、新潟市生まれの私に

としては大好物です。当院売店で販売されていたので、早速購入し、食べました。



新潟市医師会報 2023年10月号(第631号)に臨床学術論文として“豊栄病院在宅医療バックアップシステムについて”が掲載されました(上写真)。これは当院が平成27年から、診療所(開業医)の先生から在宅医療を受けている新潟市北区の患者さんが夜間や休日に状態変化が起こった場合当院医師がすぐに診察し入院ができる体制を構築し、現在でもこのシステムに則り診療を行っている事を論文形式にしてまとめたものです。当院ホームページにこの論文を掲載しました。興味のある方は、ご覧ください。当院としては、診療所の先生方を含め、オール北区でこの地域の医療を守っていきたくと考えています。

今年の5月8日に新型コロナウイルス感染症が感染症法上の2類相当から5類感染症に位置づけされてから6か月となり、町ではノーマスクの方々が増えてきています。病院内では感染対策は緩めにくく、今だ、マスクの着用・手指消毒をお願いしています。入院患者さんへの面会は当院ルールのもと行っています。なお病院外での職員への規制は基本的にはしておらず、12月には4年ぶりの病院忘年会を開催する予定です。

発行責任者・文責;豊栄病院病院長 宮島 透

豊栄病院 (代表)

TEL 025-386-2311

FAX 025-386-2370

豊栄病院 患者総合支援センター

TEL 025-386-2801 (直通)、FAX 025-386-2784